

シラベルワークショップ ペルソナ事例集

過去のシラベルワークショップで使ったペルソナ15人をご紹介します。
ペルソナづくりの参考にしてください。

Aさん (68歳 男性 城陽市久世在住)

城陽は住みよいまちということで引っ越してきて40年。定年後、一人暮らしの高齢者への情報支援や、認知症予防、河川の美化、山の整備など多方面の分野で、さまざまな団体に所属して精力的に活動してきました。

所属している団体すべてに共通しているのですが、新しい事業をはじめるためのスタート資金がなくて苦しい状況です。そんなとき、『助成金を申請してみては?』と勧められたのですが、なかなかうまく申請書に想いを書くことができません。活動の経緯や背景と言われても、文章になりません。上手く書くためにはどのような情報を収集すれば良いのでしょうか?また、そうしたことを誰に相談すればよいのでしょうか?

特に高齢者支援の分野で、城陽が抱える課題や、地域ごとの特性、今後どうなっていくのかなどが知れたら嬉しいです。

Bさん (35歳 女性 主婦 城陽市寺田在住)

結婚してこの街に引っ越し、歴史や文化のこともちろんぶんかんぶんの城陽初心者です。もっと城陽のことが知れたらいいなー。

慌ただしい子育てのなか、いつも同じところに遊びに行ってしまう、もっと楽しいところ無いのかなーと考えていたら、地域のミニコミ誌をみんなで作成するという活動があると知りました。いろんな情報を知る機会にもなるし、自分も関わってみたいと思うけど、どんな風にまちの情報を探したらいいのかな。そんな情報調べにも図書館って使えるのかな?それと、同世代の人たち、とくに女性に向けて情報発信するとき、どんな情報をどのように届ければ喜ばれるのだろうか?

私自身の興味もあって、城陽に住む同世代で頑張っている人たちや、食育関連のことを調べたいとも思っているんだけど、喜んでもらえるような情報をちゃんと集めて発信できるだろうか。



Cさん (45歳 男性 会社員 城陽市富野在住)

ずっと仕事ばかりの毎日。何か地域のお役に立てないかと思うものの、きっかけが見つけれずにいます。

つい先日、妻が、友だちの投稿した **Instagram** の記事を見て、「こんな楽しそうなイベントがあるのを事前に知っていたら、子どもと一緒にいったのに」とぼやいていました。そのこともあって、“ほしいと思っている人にほしい情報が届いていないかも”と気づきました。例えば、高齢者へ向けての情報をネットで配信してもあまり見られていないように思いますし、若者は新聞や市役所の広報誌を見ていないように思うのです。

僕にできる社会貢献の活動として、いろんな情報を何らかのカタチで発信しようと思っているのですが、お金もアイデアありません。まずはどこから手をつければ良いのかな～

ぜひ、情報発信の方法やツール、それぞれの特徴についても調べてみたいです。

それと、すでに情報発信の分野で活動されている市民団体などがあれば知りたいな～。



Dさん (55歳 男性 会社員 亀岡市古世町在住)

営業畑のサラリーマン生活 30 年。そろそろ定年が気になりだしてきています。60 歳できっぱりリタイアしようか、それとも 65 歳まで嘱託職員として頑張ろうか、悩んでいます。こう見えても、学生時代は野球の大会で優勝経験もある、バリバリの体育会系。今は阪神タイガースを応援しながら呑むのが楽しみとなっています。

このまま、テレビだけが友達ではあまりにも寂しいので、最近は休日に近くの南郷公園を散歩していますが、ふと野鳥の多さに気づきました。野鳥だけでなく、亀岡の自然環境にも大いに興味があります。定年後、何か自分の、気づきや興味を地域に生かすことはできるのでしょうか？それと、亀岡でセカンドライフを有意義に過ごしている人のお話も聞いてみたいな～。



Eさん (29歳 女性 会社員 亀岡市篠町在住)

適度な田舎のほど良い感じが好きで、亀岡市に1年前に越してきました。今は京都市にある人材教育関連の会社に勤めていますが、亀岡の方と早く知り合いになって、人を通してまちづくりに関われたらいいな、と思っています。先輩ママ・パパとの繋がりを増やしていきたいのだけど、どこに行けばいいんだろー。

近ごろ、何気ない「日常」をテーマにしたまち歩きにもハマっています。亀岡にお住まいの方と結婚し、将来的には子どもを産み育てないなーと思っているところで、「子育て家族が楽しめるまち歩き」を市役所さんもまきこんで一緒に取り組めたらおもしろいかなと、にやにや顔で構想中。昼休みに立ち寄った京都市の本屋さんで、「赤ちゃんと一緒に、京都おでかけ手帖」を手に取り、おもしろそうだと思います。亀岡でも同じような取り組みはあるのかな。それに、お母さんたちがどんな風に取材し、どこで資金調達して出版にこぎつけたのかも知りたいなー。

Fさん (29歳 女性 育休中 京都市中京区在住)

来年に職場復帰をしようと思っているんやけど、家の近くで入れる保育園が見つかるか心配。。。京都市は「2年連続待機児童ゼロ」って発表してたけど、そもそも「待機児童」ってどうやって数えているん？どういう児童を「待機児童」っていうてるんやろ？近くの保育園に入れるとは限らへんていうし、一番遠いとこやとどのくらい離れた保育園になるんやろか。。。京都府内の他の市町村ってどうなってるん？

自分たちでもできることがあるんやったら、「地域での子育て」がうまくいっている例を参考にして、なんか取り組んでみたいわ。

これから「保活」する前に、いろいろ下調べしておきたい、思ってます。

Gさん (21歳 男性 学生 京都市在住)

僕は、京都市内の大学で公共政策を学んでいる学生です。えーと、石川県出身です。地域活性化のために商店街振興を考えることになり、まず、先輩が関わっている亀岡市の商店街の振興策について提案することになりました。テーマはズバリ「インバウンド」、外国人観光客の呼び込みです。

亀岡市は観光資源がたくさんあるみたいで、外国人観光客が増えているとなんとなく聞いているのですが、まずはどんな状況なのか調べないと。できれば、どこの国から、亀岡市内のどんなところに来ているのかが知りたいです。東南アジアからの観光客も増えているってニュースで聞いたことがあるけど、どんな習慣があるのだろうか。日本との文化の違いで、トラブルになったり、観光客が不自由を感じていることもあると思うんです。その辺りのことも、ぜひ知りたいです。

Hさん (33歳 男性 会社員 亀岡市千代川町在住)

1歳の子どもの父親です。この春から、食物アレルギーのお子さんが、うちの子どもの保育所に入所されると担当の保育士さんから聞きました。

数年前に、小学校で食物アレルギーのお子さんが亡くなったニュースを思い出しました。同じ保育所の保護者として、知っておかなければならないことがあるように思いますが、まず、どこに聞けばよいのかわかりません。保育所から説明があるかもしれませんが、正しい知識を持っておく必要があると感じています。どのように接したらいいのか。声かけは？お遊びは？できれば、経験豊かな方にアドバイスもほしいです。と同時に、他の保育所での取組とか、京都府内で活動している市民有志の支援団体とかの情報も知りたいところです。

Iちゃん (6歳 小学生とお母さん 亀岡市本梅町在住)

わたしのおじいちゃんは、にしべついいん町にすんでいます。げんきです。まいにちくるまをうんでんして、おかいものもしています。

きのう、「こうれいしゃのこうつうじこがおおいからしんばいね」と、ママがテレビをみていっていました。わたしもテレビをみて、こわいとおもいました。こうつうじこはふえているのかな。ふえているならこわいとおもいます。

Hの母親です。子どもがおじいちゃんの心配をしていることがきっかけで、免許返納について家族で話し合いを始めたいと思っています。子どもにきちんと説明したいし、おじいちゃんと一緒に車の運転について考える機会を持ちたいと思っていますので、手助けになる情報がほしいと思っています。

それと、話し合いの結果、もし免許の返納をすることになったとして、おじいちゃんが楽しく、不自由なく暮らせるための手立てがないでしょうか。

Jさん (20歳 男性 大学3回生 長岡京市在住)

いま、就活真っ最中です。できれば京都で就職したい、と考えています。祖父が西陣の職人さんで、伝統産業にも少し興味があるんですが、新しい技術のものづくり産業にも興味があります。熊本出身の大学の友だちが「京都の企業は東京に本社を移さず京都に根を張って、伝統産業をうまく取り込んでいるところが多いらしい」って、言っていました。

京都の企業で、これまでに伝統産業と新しい技術でのものづくりをうまくコラボさせて、産業の中心を担っているところって、どんな企業で、どんな商品やサービスを生み出しているんだろう？コラボのきっかけって、なんだったのかな？それに、友だちが言っていたみたいに、京都はそういう企業が多いのかな？

大企業から中小企業まで知っておいて、就活の役に立てたいです。

Kさん (43歳 女性 兼業農家 京丹波町在住)

最近、縦貫道も通って「道の駅」での売れ行きもなかなか好調で、お父ちゃんと一緒に頑張っています。

せやけど、お父ちゃんが一生懸命作った畑が、シカやらの獣害でやられてしまうと、ほんま泣きたくなるんよ。獣害対策って、どんなことしたらええんかな？他の地域で獣害対策がうまくいっているところって、どんなことしてはるんやろ？

最近、府立の林業大学校もできて獣害対策のためのお勉強もしているみたいやけど、なんかお願いとかできるんやろか？

国の制度とかも、使えるもんがあったら知りたいな。

お父ちゃんを助けてあげるために、できるだけ調べてあげたいと思っています。

Lさん (52歳 男性 和菓子職人 宇治市在住)

最近、Facebookだ、ツイッターだ、Instagramだ、ブログだなんだって、インターネットにもいろいろあるらしい。クラウドファンディングだっけ？宣伝と資金集めを一緒にする仕組みもあるらしいね。

うちは、商品には絶対の自信があるけど、いまひとつ商品の宣伝や情報発信がうまくできてない。何をどう使ったらいいか、ようわからん。うまいこと宣伝や情報発信しているところは、どんなことしているんやろ？インターネットとか、どう使いこなしてはるんかな？うまくいっているお店や商品について、全国の例をちょっと勉強しておきたいんですわ。そういうのも、図書館で調べられるんかいな？

うちみたいな家族経営の和菓子屋でもできる宣伝や情報発信とか、知っておきたい、思えます。

Mさん (32歳 女性 アーティスト 向日市在住)

2020年に東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリ・パラ）が開催されるやないですか。2010年にイギリスに旅行したら、2012年のオリ・パラに向けて、いろんな町でアート系のイベントをたくさん見かけたんです。スポーツだけの祭典とちごて、文化やアートも一緒に盛り上げるんやて。私もアーティストとして、地元の京都で絶対何かしたい、って思っているんやけど、そもそもオリ・パラの開催と、文化・アートの関係って、どうなってるんやろ？ロンドンオリ・パラの時って、どこで、どんなことをしたんやろか？主催は？資金は？日本語で読める資料とかあったらええんやけど。

京都で取り組むために、どんな準備しておいたらええんやろか。

2020年に向けて京都で一緒にアート活動を頑張ってくれる人を増やすためにも、まずは、しっかり調べておきたい、思えます。

Nさん

日本は自殺者が多いことをもっと多くの人に知ってほしいと思う。

自分自身もより深く現状を知りたいので統計情報が欲しい。でも、日本の自殺者統計は合っているのだろうか。日本の自殺者数の統計はどうやってカウントしているのだろう。

ネットで検索すると警察庁と厚生労働省の統計が出てくるけど、どんな違いがあるのかな？考えてみると、各国の自殺者数の統計はどうやって確認したらいいのかわからないな。都道府県とか地域による傾向があるのかも知りたいです。もし減っているところが見つかれば、どんな取り組みを行っているのかも気になります。

Oさん

座間市の事件で浮き彫りになったように、「死にたい」と思う人の話を聞いて気持ちに寄り添うような場所がもっと必要だと思う。

自殺防止の拠点を作るにあたって、参考になるような先行事例の情報がほしいな。自殺防止に関連する支援機関はもちろん、貧困や子ども食堂など、相談支援に関わる活動の拠点を上手く運営している機関の成功要因や課題について知りたいです。

